

「女性活躍加速のための重点方針2016」該当箇所		通し番号 37
大項目	I. あらゆる分野における女性の活躍	
中項目	2. あらゆる分野における女性の参画拡大・人材育成	
小項目	(3)行政分野、理工系分野等における女性の参画拡大	
細項目	③女子生徒等の理工系選択に係る取組など理工系分野における女性参画拡大の動きをさらに加速させる。 …女子児童・生徒等への理工系分野に対する興味、関心や理解を向上させる取組を強力に推進し、次世代を担う理工系女性人材の裾野の拡大に取り組む	
該当施策名 (事業名)	女子中高生の理系進路選択支援プログラム	
当該施策の背景・目的	女子中高生の理系分野への興味・関心を高め、適切に理系進路を選択することが可能となるよう、地域で継続的に行われる取組を推進。	
当該施策の政策手段の分類		法令・制度改正
		税制改正要望
	○	予算
		28年度当初予算: 30,000 千円 28年度一次補正予算: - 千円 28年度二次補正予算: - 千円 29年度要求予算: 60,000 千円
		機構定員要求
		その他(具体的に)
当該施策概要	<施策概要> 1:継続的かつ効果的な取組実施を目的とした組織の構築(産学官の連携したコンソーシアムや運営協議会等) 2:文理選択に迷う女子中高生に効果的にアプローチ仕組みの構築(学校訪問による全生徒を対象とした取組等) 3:教員・保護者等関係者が相互理解を深め、生徒が主体的に考える将来像に従って進路選択が可能となるような環境・土壌の構築(シンポジウム、理系キャリア相談会等のイベントの開催等) 4:複数年度支援による効果的なPDCAサイクルの構築 5:国立研究開発法人科学技術振興機構による効果的な側面の支援(事例調査や研究等の実施、各取組へのフィードバック等) <これまでの取組/来年度の実施予定> 女子中高生の理系分野への興味・関心を高め、適切に理系進路を選択することが可能となるよう、文部科学省として、独立行政法人(国立女性教育会館)や大学等によるシンポジウムの開催や、実験教室の開催を支援してきた。来年度も引き続き新規拠点を採択し、取組を推進する。	
担当府省庁	文部科学省	
	科学技術・学術政策局人材政策課	

現状認識

- 女性が科学技術分野に進む上で将来像が描きにくい。
- 自然科学系の学部・大学院に占める女性の割合は、人文・社会科学に比べて低い。
- 多用な視点や優れた発想を取り入れ科学技術イノベーションを活性化させるためには、女性の活躍が不可欠。

⇒ 女子中高生の理系分野への興味・関心を高め、適切に理系進路を選択することが可能となるよう、地域で継続的に行われる取組を推進。

「第5期科学技術基本計画」(抄)(平成28年1月22日 閣議決定)

・国は、次代を担う女性が科学技術イノベーションに関連して将来活躍できるよう、女子中高生やその保護者への科学技術系の進路に対する興味関心の理解を深める取組を推進するとともに、関係府省や産業界、学界、民間団体など産学官の連携を強化し、理工系分野での女性の活躍に関する社会一般からの理解の獲得を促進する。

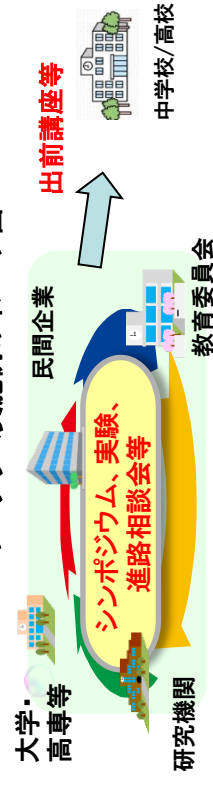
「第4次男女共同参画基本計画」(抄)(平成27年12月27日 閣議決定)

！・大学、研究機関、学術団体、企業等の協力の下、女子児童・生徒、保護者及び教員に対し、理工系選択のメリットに関する意識啓発、理工系分野の仕事内容、働き方及び理工系出身者のキャリアに関する理解を促す。

<事業概要>

- ・支援先：大学・高専等を含めた連携機関等(300万円×20件)
H29 新規採択数：10件
- ・支援期間：2年間
- ・内容：シンポジウム開催、実験、出前講座、理系キャリア相談会等
- ・対象：女子中高生、保護者、教員(小学校5年生以上の児童も可)

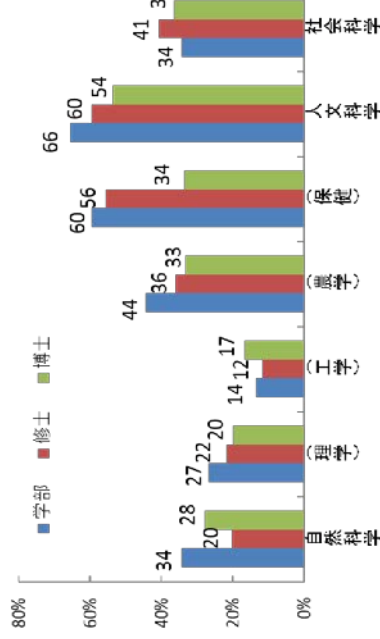
プログラム実施例のイメージ図



<目指す姿>

- ・女子中高生の適切な進路選択を通じた、女性の多様な分野での活躍。
- ・科学技術分野での女性の活躍により、我が国の科学技術イノベーションを推進。

(参考) 学部学生・院生に占める女性の割合



平成27年度学校基本調査より作成

<取組内容の特徴>

1. 事業運営の基盤を構築

産学官連携により、**女性の活躍に関する社会全体の理解を促進、多様なロールモデルを提示。**

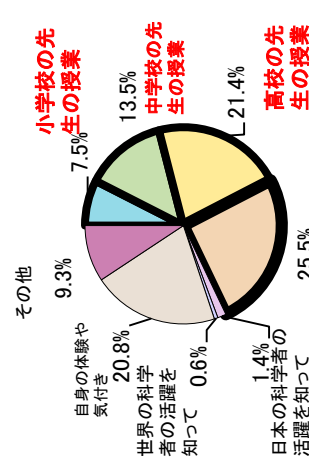
2. 文理選択に迷う生徒の興味を喚起

シンポジウム・実験等に加え、**積極的な学校訪問**によるワークショップ等を実施。理系の進路選択に関心が薄い層や文理選択に迷う層に対する、興味関心の喚起。**幅広い視点からの進路選択**に寄与。

3. 保護者・教員等へのアプローチ

進路選択に大きな影響を与える保護者や教員向けの取組を積極的に実施。また、小学校高学年の児童の参加も可とすることにより、**興味関心の早期定着**を図る。

(参考) 女子学生が理系の進路を選択した理由



出典：日本ロレアルによる「理系女子学生の満足度に関する意識調査」(平成23年6月)

「女性活躍加速のための重点方針2016」該当箇所		通し番号 38
大項目	Ⅰ. あらゆる分野における女性の活躍	
中項目	2. あらゆる分野における女性の参画拡大・人材育成	
小項目	(3) 行政分野、理工系分野等における女性の参画拡大	
細項目	③ 女子生徒等の理工系選択に係る取組など理工系分野における女性参画拡大の動きをさらに加速させる。平成28年度に構築した産学官による「理工系女子応援ネットワーク」の本格展開を進めるとともに、女子児童・生徒等への理工系分野に対する興味、関心や理解を向上させる取組を強力に推進し、次世代を担う理工系女性人材の裾野の拡大に取り組む。また、地域において理工系女性の活躍を拡大するための運営協議会等の構築や、理工系女性が必要とする企業ニーズやスキル、ロールモデルなどの情報へのアクセス向上のための取組を進める。	
該当施策名 (事業名)	理系女性活躍促進支援事業	
当該施策の背景・目的	経済産業省及び文部科学省の共同事務局で設置している「理工系人材育成に関する産学官円卓会議(以下「円卓会議」)」では、特定の産業分野で人材が不足していること、産業界は採用した学生に対して再教育している実態があることが示された。 円卓会議では、産業界で求められている人材の育成や育成された人材の産業界における活躍の促進策として、産学官において重点的に着手すべき取組を「理工系人材育成に関する産学官行動計画」としてとりまとめており、本事業も当該行動計画における取組みとして位置づけられている。	
当該施策の政策手段の分類		法令・制度改正
		税制改正要望
	○	予算
		28年度当初予算: 195,025 千円 の内数 28年度一次補正予算: - 千円 28年度二次補正予算: - 千円 29年度要求予算: 220,000 千円 の内数 ※女性活躍推進基盤整備事業費
		機構定員要求
		その他(具体的に)
当該施策概要	女性活躍推進のため、理系女性が持っているスキルと産業界が求めるスキルの可視化を行い、女性自身がどのようなスキルを身につければよいか把握できるようなツール構築及び環境整備等を実施する。	
担当府省庁	経済産業省	
	産業技術環境局大学連携推進室	

理系女性活躍促進支援事業

平成29年度要求額 女性活躍推進基盤整備事業費の内数

事業の内容

事業目的・概要

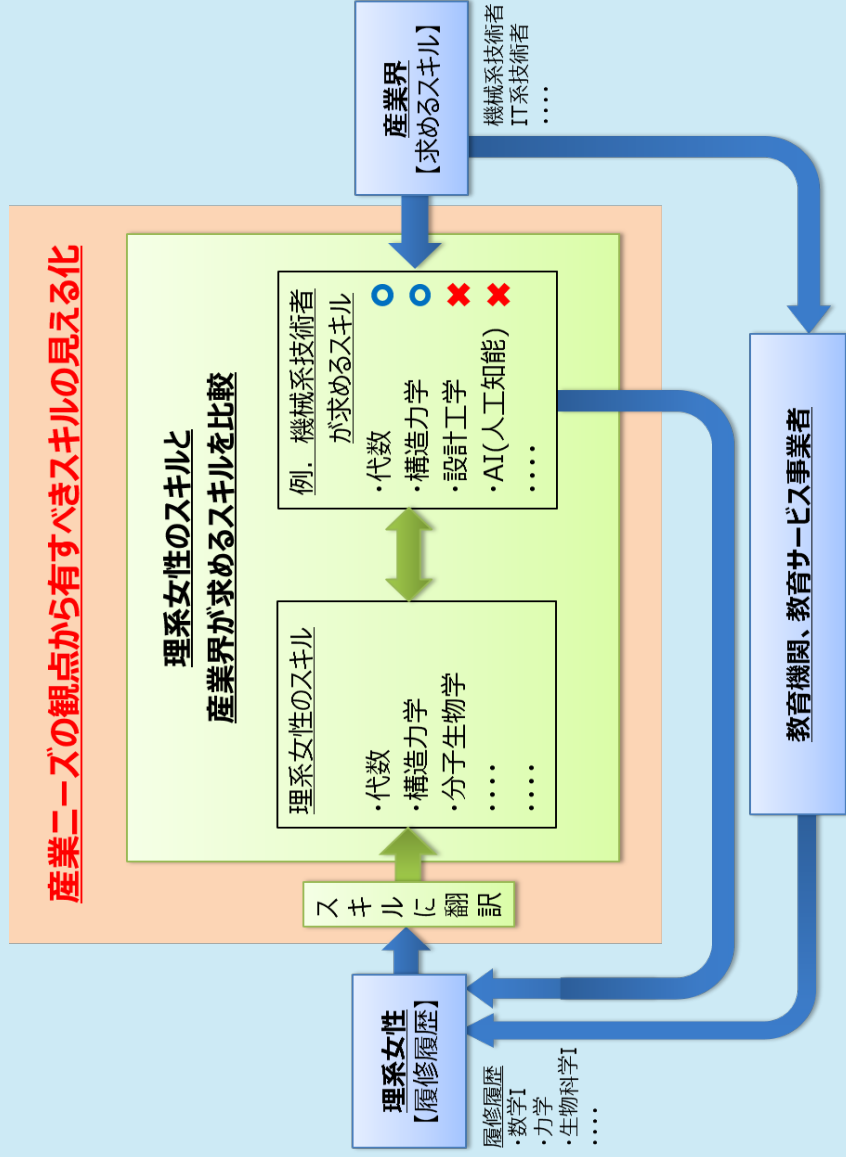
- 本事業は、理系女性が有するスキルと産業界が求めるスキルを比較し、女性自身がどのようなスキルを身につければよいか把握するためのシステムを整備することにより、理系女性の活躍促進を図ることを目的としています。
- 具体的には、理系女性の履修履歴と産業界が求めるスキルを比較可能とし、産業界のニーズの観点から理系女性性が有すべきスキルを見える化するシステムを開発します。
- 本事業により、有すべきスキルが見える化されることで、理系女性の学業に対するインセンティブが増大し、理系女性の履修行動が変わることに繋がると考えられます。
- また、スキルの効率的な取得については、教育サービス事業者によるオンライン講義等を活用することが有効と考えられます。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

事業スキーム



「女性活躍加速のための重点方針2016」該当箇所		通し番号 39
大項目	Ⅰ. あらゆる分野における女性の活躍	
中項目	2. あらゆる分野における女性の参画拡大・人材育成	
小項目	(3)行政分野、理工系分野等における女性の参画拡大	
細項目	③ 女子生徒等の理工系選択に係る取組など理工系分野における女性参画拡大の動きをさらに加速させる。平成28年度に構築した産学官による「理工系女子応援ネットワーク」の本格展開を進めるとともに、女子児童・生徒等への理工系分野に対する興味、関心や理解を向上させる取組を強力に推進し、次世代を担う理工系女性人材の裾野の拡大に取り組む。また、地域において理工系女性の活躍を拡大するための運営協議会等の構築や、理工系女性が必要とする企業ニーズやスキル、ロールモデルなどの情報へのアクセス向上のための取組を進める。	
該当施策名 (事業名)	建設業における女性活躍の推進 (「建設業女性定着モデル」推進パッケージ)	
当該施策の背景・目的	建設業においては、従事者の高齢化や若年入職者の減少等により、将来の担い手の育成・確保が喫緊の課題となっている。こうした状況下、建設業での女性の活躍は、業界に新たな活力や刺激をもたらすほか、性別を問わずあらゆる世代に対して業界の魅力を高め、担い手育成・確保に向けた原動力となるような好循環が期待される。このため、女性の更なる活躍を国内人材育成・確保策の柱の一つに位置づけ、業界の全体の活性化と将来の担い手育成・確保を図る必要がある。 平成26年8月に官民共同で策定した「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」を受け、5年以内の女性倍増を目指し、官民挙げた様々な取組が実施されているところ。	
当該施策の政策手段の分類		法令・制度改正
		税制改正要望
	○	予算
		28年度当初予算： 55,000 千円 28年度一次補正予算： - 千円 28年度二次補正予算： - 千円 29年度要求予算： 81,000 千円
		機構定員要求
		その他(具体的に)
当該施策概要	「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」を踏まえ、官民が連携して女性技術者・技能者の5年以内の倍増を目指す。平成29年度予算要求においては、地域ぐるみの活動の更なる深化・定着とともに、建設業における女性進出で大きな課題とされる分野への重点対応(①女性活躍を推進する広報活動の展開、②女性活躍事例等の業界へのフィードバック、③女性向けの教育、育成メニューの開発・展開)を図ることで、女性の更なる活躍に向けた総合的な対策を「パッケージ」で推進する必要がある。	
担当府省庁	国土交通省	
	土地・建設産業局建設市場整備課労働資材対策室	

- 建設業における女性活躍は、官民挙げた『もっと女性が活躍できる建設業行動計画』（平成26年8月策定）を受け、『5年以内に女性倍増』を目指して官民で様々な取組がスタート
- この機運を捉え、女性活躍推進の取組みを業界全体に広げていくために、①女性の入職を促進する広報活動に加え、②建設業界へのフイードバック、③女性向け教育・育成メニューの検討というパッケージによる施策を展開

平成27年度・28年度実施内

- ①地域ぐるみで女性活躍を応援する活動の深化
- ②女性活躍を牽引するリーダーの育成

- ③女性が働きやすいモデル工事現場の実践
- ④他産業の市場の創意・活力の取込み

 **女性活躍推進の機運の機運を捉え、先進的な事例を推進。今後は業界全体に展開していく必要。**

①女性活躍を推進する広報活動の展開

「女性は活躍できない」というイメージが一般に定着し、建設業に入職しようとする女性が増加しない



建設業への入職を促進するためのキャンペーン展開

- 女性向けキャンペーン（イベント等）への協賛
- 全国各地域でキャンペーン展開
- 映像媒体等のメディアの活用
- ユニークな建設業の魅力を紹介



「女性の活躍できる建設業」というイメージの発信・定着により、幅広い層に建設業への関心を広げたい。女性も「戦力」としての女性の受入体制を醸成



建設業は年間700万人の労働者を抱え、建設・建設準備を担う重要な産業。女性も「戦力」としての女性の受入体制を醸成

②女性活躍事例等の業界へのフイードバック

- ・建設業界の中でも「男の職場」という意識が根強く、女性の受入体制が未整備
- ・女性を雇用しようとする経営者でも、ノウハウがなく、実現できていない場合が多い



「女性に建設業は無理」と言うイメージ払拭

- 女性向け製品の紹介、マッチング
- 人事担当者等向けセミナーの開催
- 先進事例の報告、紹介
- 専門工事業者に対象を拡大



女性も「戦力」となるという業界の意識改革により、業界としての女性の受入体制を醸成



③女性向けの教育、育成メニューの開発・展開

- ・体力等の差により、女性では活躍しづらい分野が存在
- ・機械の活用や施工技術等により、体力差をカバーするノウハウが未熟



女性が働きやすい職種や育成メニューの検討

- 女性向きの職種、作業行程の分析・選定
- 既存の育成メニューを基に、女性の体力等に対応したメニューを作成
- 職業訓練校におけるモデル講習の実施



建設業で活躍できる女性を育て、定着させる

